

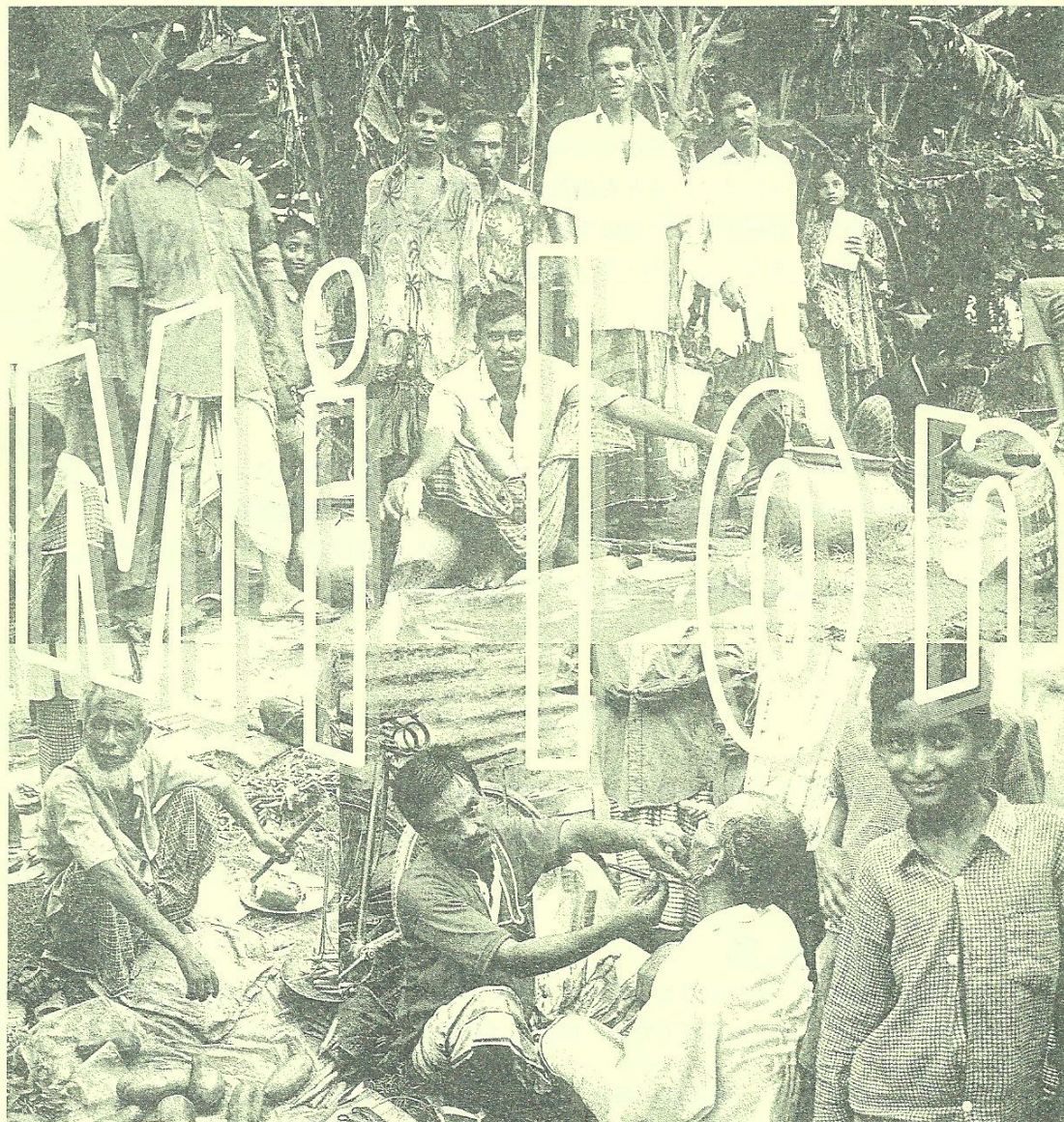
特定非営利活動法人 バングラデシュと手をつなぐ会

# ミロン

No.114

June

2008



(バングラデシュ カラムディ村  
市場の風景より)

特定非営利活動法人 バングラデシュと手をつなぐ会  
福岡市早良区西新5-4-20  
TEL&FAX: 092-844-1369  
ホームページ: <http://bangla.nngo.jp>

※「ミロン」は一つになる、手をつなぐという意味のベンガル語です。

◆ アジアの子どもたちの未来のために ◆

特定非営利活動法人 **バングラデシュと手をつなぐ会**

バングラデシュ西部のメヘルプール県・カラムディ村やその周辺地域で  
 現地の村人による開発のための委員会「ションダニ・シオンスタ」と協力して  
 《教育》 《保健医療》 《生活向上》 の分野で協力活動を行っています。

**現地での活動**

バングラデシュと手をつなぐ会では、現地NGO「ションダニ・シオンスタ」に毎年活動資金を提供。  
 相互のパートナーシップのもとに現地活動を支援しています。

\*現地で「ションダニ・シオンスタ」は、主に次のような活動をしています。

**教育**

- ① ジャパニ小学校の建設とその後の運営支援～“みんなのための教育”を！
- ② 貧しくて学校へ行けない子どものために奨学金制度の実施
- ③ 就学に必要な費用を得るための支援として仔牛の奨学金プロジェクトの実施
- ④ ションダニ・スクール（小・中・高校）の建設・運営～“質のよい教育”を！

**保健医療**

- ① 妊婦健診や出産、産後のフォローや一般診療を行う母子保健センターの建設・運営
- ② カラムディ村の近隣の村々にソーシャルワーカーが赴き巡回健診
- ③ カラムディ村から遠い村にも拠点を置き定期的に出張診療（サテライト・クリニック）
- ④ 医療設備の充実、緊急患者対応のための救急車の配備

**生活向上**

- ① 生活に必要な収入が得られるよう支援する肉牛貸し出しプロジェクト
- ② 村の女性を対象に、足踏みミシンの職業訓練

**国内での活動**

これら現地の活動は、関心を寄せてくださる多くの方々のご理解とご協力に支えられています。  
 そのような支援の輪をより広げるため、国内では次のような活動を行っています。

- ① 総会（毎年5月）、理事会（毎月2回）、事務局による活動方針の決定や運営
- ② 会報誌『ミロン』を年4回発行
- ③ 現地訪問やスタディツアーの開催と、その報告会開催や報告書などの作成
- ④ 学習会、バングラ料理教室、チャリティコンサート、チャリティバザーの開催
- ⑤ 出張講師や各種イベントでのブース出展などにより、活動紹介などを行う

皆様方のご理解とご協力、いつもありがとうございます。

## 手をつなぐ会 20周年を迎えて

バングラデシュと手をつなぐ会の2008年度総会が終了しました。

新しい年の活動方針と予算が承認され、今年の活動へ第一歩を踏み出しました。

第1回の「福岡市市民国際貢献賞」の受賞は、20年間の会の地道な活動への評価だと思います。現地でも、国内でも、様々な問題を抱えながら、あゆみを進めてきました。その経験を、他のNGOや市民へ還元し、共有して、さらに発展を目指したいと思います。

今年の目標の一つは、ボランティアの専従スタッフをおくことです。会の活動も、いろいろな会議や広報誌の編集・発送、NGOとしての学習とネットワーク、諸団体との交渉や資金集めなど多岐にわたります。本来なら、有給の専従スタッフにおいて、理事会の決定をスムーズに実行できるようにしたいのですが、現実にはまずボランティアで、定期的に事務所などで作業のできる方を募集します。せめて交通費くらいは確保したいと思っています。

さあ、これから新年度の活動開始です。

まずは、8月の『現地訪問』。ただいま、参加者を募集中です。

会員の方で、まだ現地を見たことがない方、村人や子どもたちの笑顔と接してみたい方、新しい世界に挑戦してみたい方…どうぞご参加ください。

秋には、現地からのスタッフを招聘する予定です。現地NGO「シヨダニ・シヨスタ」の医療と運営のスタッフを日本に招いて、現地のことを知り、日本のことを知ってもらい、お互いの学びを深めたいものです。

チャリティコンサートやバザーなども、例年通り行います。また、NGO福岡ネットワークのほかの団体とも協力して、NGOとしての学びも深めていきたいと願っています。

バングラデシュと手をつなぐ会20年目を、皆さんと一緒に歩いて行きましょう。

(二ノ坂 保喜)



ミロン114号目次	
あいさつと目次	1
総会報告／ミャンマーサイクロン募金報告	2
事業方針	3~4
全理事名一覧／新理事の抱負	5
現地報告	6
現地報告／活動報告①	7
活動報告②~④	8
会計報告／活動予定	9
お知らせ：現地訪問募集・チャリティコンサート開催・スタッフ募集	裏表紙

# 08年度 手をつなぐ会総会報告

バングラデシュと手をつなぐ会の2008年度総会が、5月11日(日)「もちパレス第2研修室」(福岡市早良区百道2-3-15)にて開催されました。

会を代表して二ノ坂代表は、「初めて見る顔もあり嬉しく思う。昨年1年間の活動を振り返り、今後1年間の活動計画を皆で考え、共有して今後の活動に生かしていきたい。会は20周年を迎える。1987年の小学校建設から子供達への奨学金援助活動、90年から95年へかけての母子保健センター建設、毎年の現地訪問、この間、色々と紆余曲折はあったが、ドナーとしてお金を出すだけでなく、現地の人々とションダニションスタを通じ、パートナーとしての活動を強めてきた。そういう活動を通じ、現地の人々から私たちが逆に学ぶことも多い。20年間学んできたこと、感じてきたことを生かしながら、今後の活動を皆さんと共に頑張っていきたい。結成20周年を迎えた今年、期せずして福岡市から第1回福岡市国際貢献賞を受けた。喜ばしいことであり感謝すると共に、これらも励みとして行きたい」と思いを述べました。

議長に平山氏を選出、議案書に基づき活動報告、会計報告を受け、質疑後、両報告を拍手で確認しました。役員改選について二ノ坂代表から提案があり、提起通り二ノ坂代表、平山副代表、ラフマン、矢野、木村、淵上、八尋、杉園理事及び松原、八木監事が承認されました。八尋、杉園新理事の挨拶の後、退任の中島、篠崎理事から挨拶を受けました。その後、2008年度事業方針案、活動計画案、会計予算案を提案し、3案は拍手で承認されました。予算案について、直に実現性が有る訳ではないが、何とか置きたいという希望を込めて専従スタッフ給与として年36万円を上げていることが特に強調されました。

議長解任後、夏の現地訪問(8月16日~26日)について、6月1日の五ヶ山、6月22日の照葉(人工島)でのオカリナコンサート、7月12日(長崎)、7月13日(福岡)でのチャリティコンサートについて案内があり、参加呼びかけがありました。

15分の休憩後、バングラデシュサイクロン被害について矢野理事から講義があり、参加していたラフマン理事の教え子達から沢山の質問があり、充実した講演会となりました。(木村)

## <募金の報告> 人の集まるどころ、募金箱有り!!

今年度の総会にも募金箱を置かせていただきました。

今年はミャンマーのサイクロンによる甚大な被害が報道されていたこともあり、募金箱を2個置き、「バングラ募金」と「ミャンマーのサイクロン被害復興支援のための募金」を呼びかけ「ミャンマー支援募金」箱に集まった¥3,820を郵便局から日本赤十字社へ送金しました。

「バングラ募金」はこれまでどおり、カラムディ村の子どもたちの笑顔のために、使わせていただきます。

ありがとうございました。

(中島)

[日本赤十字へ送金した際の領収です→]

振替払込請求書兼受領証  
 (チャマ-7170) 振替 後 口座  
 001/02  
 5606  
 日本赤十字社  
 ¥3820  
 バングラディシュ  
 つなぐ会  
 5月11日 募金分  
 20-05-13  
 福岡 八名  
 押印  
 74169 105  
 190560029

[総会にて決定した今年度事業方針を報告いたします。]

## — 2008 年度 事業方針 —

### I. 国内の組織活動の強化

手をつなぐ会の会員として活動して下さる方が増えることが会の活性化につながります。より多くの人に手をつなぐ会の活動を周知し、賛同を得、会員の増加につながる取り組みについて充実を図り、組織としての活動を強化する必要があります。

#### 1) 国内活動の継続

バングラデシュの食生活を体験し、文化的な理解を深めることを目的とした「バングラデシュ料理教室」を開催し、「チャリティコンサート」では、手をつなぐ会の存在と活動をより多くの人にアピールし、新会員の加入につなげます。さらにパネルや民芸品を展示することにより、手をつなぐ会の活動を紹介し募金を促します。春と秋のバザーの開催、地球市民どんたくなどのイベント参加などを今年度も継続的に実施していきます。

#### 2) 開発教育の実践

手をつなぐ会の取り組みや経験を、各地の教育現場や地域などで、「出張講座」というかたちで報告していきます。社会還元活動の分野においても長年の経験をもとに寄与していきたいと考えます。また「開発教育」の分野においても「現場の視点からの情報」を発信していくことで偏見や差別を生まない現地理解をし、「公正な国際社会の実現」を目指す教育活動を行っていきます。

#### 3) 組織の機能強化

上記、対外向けの活動強化と同時に理事を中心とした「組織の機能強化」を図る必要があります。おかれている状況を冷静に分析する力を養い、理事間での情報の共有、さらには会員への周知徹底というホットラインの構築を立て直していきます。昨年度、新しい会員とともに、会の歴史を振り返り、手をつなぐ会の活動理念や現地の活動をより深く理解するために会員研修を行いました。今年も継続したいと考えています。

#### 4) 関連団体との連携、協力

手をつなぐ会の活動は単独的なものではありません。「長崎母子保健センターを支援する会」の協力はもちろんのこと、バザーや事務的な作業などでの各団体の協力は不可欠となっています。また、現地の活動で協力を得ている各財団との連携も継続していきます。毎年多くの団体が参加する「地球市民どんたく」への参加や福岡市近郊の団体が加盟する「NGO 福岡ネットワーク (FUNN)」の一員として他団体との連携、共催イベント実施や勉強会への積極的な参加をはかり、第1回福岡市『市民国際貢献賞』受賞団体として恥じない「地域の国際協力をリードする NGO」を目指します。

## II. ションダニ・シオンスタとのパートナーシップ

手をつなぐ会の活動は現地 NGO「ションダニ・シオンスタ」の活動を全面的に支援しています。近年、現地の状況の急激な変化とションダニ・シオンスタの活動の成長について、手をつなぐ会側が、その現状を把握、理解できていない部分が多々ありました。現地からの報告、また現地訪問やスタディーツアーなど、現地との関わりについて見直しを図り「現地と同じ目線での取り組み」をテーマにして研修を深める必要があると思われま

### 1) 現地の活動

医療分野での活動の中心である「母子保健センター」において、国内情勢の変化から医師や看護師の退職が相次ぎ、医療活動に支障を来たす時期がありました。事務局長はじめスタッフの努力で、現在は医師、看護師とも常駐し以前と同様の医療活動を再開しています。これからも状況次第で、「母子保健センター」が目指すく地域に根ざした医療が、困難に見舞われることも予想されます。手をつなぐ会は、ションダニ・シオンスタを支援し、地域医療に専念できる体制を支持していきます。

教育の分野では、ションダニ・シオンスタが経営するションダニスクールで、高校までのシステムが完成し、卒業生も輩出しています。また、子牛の貯金箱（奨学金）については、宇治理事が現地へ調査に赴き、将来の展望について現地スタッフとも話し合うことが出来ました。

### 2) 現地理解

現地からの報告については毎月、詳細なレポートが送付されてきます。それらの報告に加え、夏の現地訪問、冬のスタディーツアーによる直接の状況把握の機会を通じて現地情報の共有に努め、今後も「ともに歩むスタンス」をより強化していく必要があります。

### 3) パートナーシップ

ションダニ・シオンスタの取り組みの充実と共にそのパートナーである「バングラデシュと手をつなぐ会」の組織の向上が求められていることは前述のとおりです。現地と共に成長する組織を目指していきます。

## III. 20周年行事として

「バングラデシュと手をつなぐ会」として活動を開始して、今年度は20周年に当たります。現地スタッフを招聘し、今まで以上に現地との交流と理解を深め、日本国内での理解と協力の輪を広げて行きたいと考えています。今後も長期的視野に立ち、国内外の活動における細かい問題点を、機関誌等で現状を随時理解していただきながら、会員のみなさんと一緒に摸索していきたいと考えています。



## ＝ 新役員紹介 ＝

2008年度総会にて承認された役員は以下のとおりです。

役名	氏名	変更事項
代表	二ノ坂 保喜	再任
副代表	平山 正明	再任
理事	木村 喜郎	再任
同	RAHMAN MOKHLESUR	再任
同	矢野 孝明	再任
同	淵上 裕子	再任
同	杉園 順代	新任
同	八尋 俊二	新任
監事	松原 弘明	再任
同	八木 良子	再任

### 新理事あいさつ

#### ● 杉園 順代

バングラデシュと手をつなぐ会の皆さん、こんにちは。新理事となりました杉園です。

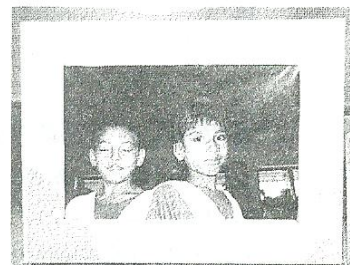
Eメールも携帯も使えない私に、果たして何ができるのでしょうか。

しかし、あのカラムディ村のあかるい子どもたちの顔を思い、私の残された人生の中で少しでも充実した時が持てれば…とお引き受けしました。微力ながら私に出来ることを探して努めて参ります。

よろしくお願ひいたします。

#### ● 八尋 俊二

私がバングラデシュに行ってから早くも一年に近くなりました。だんだんバングラデシュの思い出が郷愁に似たものに近くなりつつあり、これではいけないと思っています。このバングラデシュと手をつなぐ会の会員である以上、バングラデシュは現実のものであり、絶えずバングラデシュと向き合っている必要があるのです。ともすれば現実の世間の中で忙しさに追われてバングラデシュが心の片隅に追いやられていたり、忘れられていたり。こんな私がこの度、理事になるということで大変恐縮に思っているのですが、幸いにもバングラデシュで撮った子供たちの写真が絶えず私の方を向いてほほえみかけてくれるのでとても救われた気持ちになっています。大事なことは情報の発信だと思いますのでこれからはひとりでも多くの人にバングラデシュのことを知ってもらえるよう努力することを誓いまして理事就任のあいさつとさせていただきます。



# ～カラムディ村便り～

## ■新しい医者と診察活動

2007-08年度はシオンダニにとってとても苦しい年でした。医者も退職し、看護師も続々とやめていきました。今までもスタッフの入れ替わりはありましたが、今回ほどひどいものはありません。規制を強化する国家政策の影響で、看護師も医者も都会に集中し、田舎の医療機関はスタッフ不足となり、サービスを停止せざるを得ない状況になりました。またスタッフ確保のために財政赤字も増えました。

現在、母子保健センターはやっと医師や看護師を確保し、正常に戻りつつあります。しかし医師は若く、経験に乏しく、またいろいろな医療器具の使い方に慣れていないため、期待されるほど成果が上がっていません。母子保健センターの活動の中心である妊婦検診。その検診に一番必要とされるのはエコーです。新しい医師はエコーの研修を終え、やっと妊婦検診を始めました。経験が浅いので、自分の診察にまだ自信を持ってないようです。胎児の状況を十分に把握できず他のクリニックに紹介したり、妊婦の家族に納得できるような説明ができず少しトラブルもあるようです。

また、現在は、田舎でも妊婦やその家族は胎児の状況より男か女かを知りたがる傾向が強くみられます。しかしシオンダニはできるだけ胎児の性を教えたくない方針なので、不満を持つ妊婦もいるようです。

今月は、先月に比べて外来患者数も少し増えました。出産数はこの数ヶ月ほぼ横ばいの30台前半です。検査部門を24時間体制にしたり、医者とヘルス・コーディネーターがペアになってほぼ毎日外来患者の少ない時間帯に村に出て行って村人とコミュニケーションを図ったりしています。しかし、シオンダニに対する地域住民の信頼回復にはもう少し時間がかかるようです。

## ■スタッフの確保

スタッフ不足の問題が相変わらず続いています。医者の補助スタッフとして2人のパラメディックが就任しましたが、その後国立病院の採用が決まり、2人ともシオンダニを後にしました。その後一人のパラメディックを採用しましたが、母子保健センターに慣れるのにも、仕事を覚えるためにも時間がかかると思われます。このようにスタッフの出入りが頻繁にあれば、それは母子保健センターや患者さんに大いに影響を与えるでしょう。安定したスタッフ確保が一番大きな課題です。

## ■支出増加

長い間雨が降っていません。とても暑いです。停電も日常的な現象になっています。長時間にわたり電気の供給がない時は、自家発電機を使わないといけません。発電機も救急車もガソリンで動くので、ガソリンの値上げによって、採算が取れず赤字がふくらむばかりです。

## ■妊婦に対する肉牛貸し出し制度の現状

昨年、貧しい家庭の妊婦に対して肉牛貸し出し制度が導入されました。1年目に5頭の牛を買い、5人の妊婦に貸すという計画がありました。その後母子保健センターのスタッフの入れ替わりが激しくなり、一時外来や妊婦検診を中断せざるを得ない事態まで発展しました。このような状況の中で、シオンダニもこのプロジェクトに対して積極的ではなく、妊婦たちも慎重でした。昨年、肉牛を借り入れた妊婦は1人だけです。彼女は5月5日に無事出産したそうです。彼女の検診や出産費用全額はシオンダニが支払い、牛を売却してその費用を支払ってもらう予定です。またソーシャル・ワーカー達も看護師不足のために母子保健センターで働き、巡回検診を予定通りできませんでした。そのために適切な妊婦の把握が遅れ、このプロジェクトの実現が遅れています。



■ユニオン議長による社会貢献賞

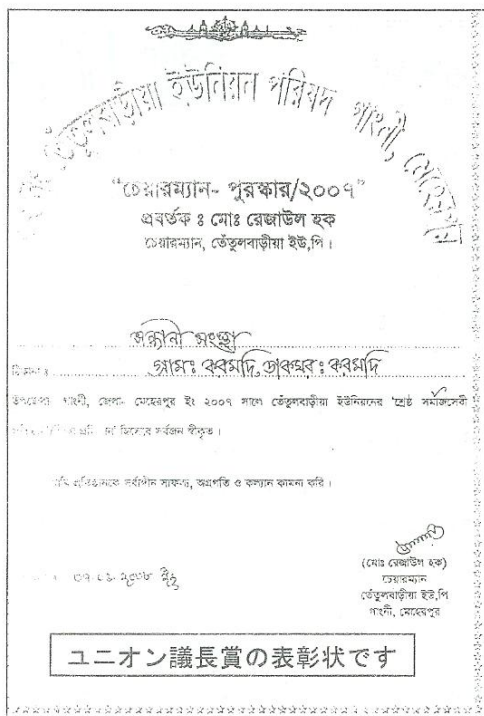
いくつかの村で構成される行政の最小の単位がユニオンです。現在の議長が、優れた農民、ソーシャル・ワーカー、教員、文化人、学校、NGOなどに対する「社会貢献賞」を設定しました。

この度、長年の間ショングダニがこの地域で活動してきたことを認められ、この「ユニオン議長賞」を受賞することになりました。今年5月7日に授賞式が行われ、ショングダニの代表としてヘルス・コーディネーターのエクラムールさんが参加し、賞



状を受け取りました。今年バングラデシュと手をつなぐ会もショングダニもこのように行政から認められ、社会的責任が一層深まりました。

これを励みに、これまで以上にがんばりましょう。

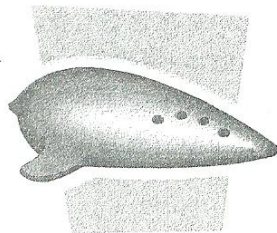


\*\*\*\*\*

活動報告・1

チャリティバザー開催!

3月30日雨の中、バザー会場そばの倉庫をお借りして、バザーを決行!! 前日からの雨が小ぶりになる様子もなく、3月末とは思えないほど花冷えのする日曜日になりました。いつものお花、お漬物、カシワ飯、パウンドケーキが届き、朝倉郡からお野菜も運んでいただいて、お客さんが来るだろうかと心配しながら、バザーの提供品がごった返す倉庫の奥で、マイクなしでのオカリナミニコンサートが幕を開けました。



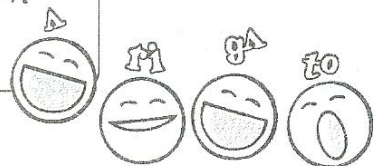
オカリナの音色や、お花を並べた小道に誘われるように、お客さんが集まり、あれやこれやと品定めをする人が、最後まで途切れることはありませんでした。

前々回からのお手玉教室が好評ですが、今回は無理かとあきらめていました。でもお手玉の達人Kさんは、お母さんと一緒に来ていた女の子に、<ヨーヨーお手玉>という新しいお手玉のやり方を教えながら、そばにいた人たちも巻き込んで、お手玉教室をはじめていました。みんなが童心に返って<ヨーヨーお手玉>をしている姿は、さっきまで知らない人同士だったとは思えないほど、気持ちの和むものでした。

雨の中、荷物を運んでくださった皆さん、コンサートの後もオカリナを演奏してくださった I さん、靴の中や足元がぐしょぐしょにぬれながら販売をしてくださった皆さん、本当にありがとうございました。現地での運営資金に、又、国内での活動資金として、大事に使わせていただきます。(中島)

\*提供品売り上げ ¥71,821. \*バザー会場募金 ¥35,644.

2007年度春のバザーは、合計¥107,465.となりました!



活動報告・2

# 講座「 Bangladesh サイクロン被害報告会」

3月9日(日)、福岡県国際交流センターが主催する「“ちきゅう”を知る講座」の第2回講座が開講されました。この講座は Bangladesh と手をつなぐ会が共催となりコーディネートしました。

講演タイトルは「 Bangladesh サイクロン被害報告会」。岐阜女子大学南アジア研究センター研究員の日下部尚徳氏を講師に迎え、手をつなぐ会の理事である矢野孝明氏がコーディネーターを務めました。始めに矢野氏より Bangladesh の概要の紹介があり、続いて日下部氏より昨年11月に Bangladesh を襲った大型サイクロン“シドル”の被災状況が報告されました。

被災直後に現地入りし活動してこられた日下部氏の報告は非常に詳細かつリアルで、被災地の「現実」を目の当たりにする思いでした。土壌や住居など自然環境、生活環境の両面から解説される Bangladesh の事情を聞いていくと、自然災害と隣り合わせの国・ Bangladesh の実状が如実に描きだされてきます。今回特に印象的だったのが、「被災地にもまずは生活がある」という言葉です。今回の講座を通して、このサイクロンの被害状況について知るだけでなく、現地で生活する人たちの目線に立って「私たちのやっていることが本当に現地の人たちに貢献できているのか」を常にふりかえることの重要性を改めて感じました。緊急援助と復興支援、援助する側の意識、日本の役割などについて深く考えさせられる講座でした。

活動報告・3

# 福岡市市民国際貢献賞に関連して ～テレビ・ラジオで特集番組

『ミロン』前号でご報告したとおり、手をつなぐ会は第1回(平成19年度)福岡市市民国際貢献賞をいただきました。それに関連して、テレビ・ラジオで特集番組が組まれました。手をつなぐ会からはニノ坂代表、ラフマン理事、矢野理事が取材を受け、会の活動を紹介しました。

○TNC(テレビ西日本)「コミュ!福岡」 4月25日 11:15~11:25

○Love FM(九州国際エフエム) 3月24日、25日 23:00~23:30の計1時間

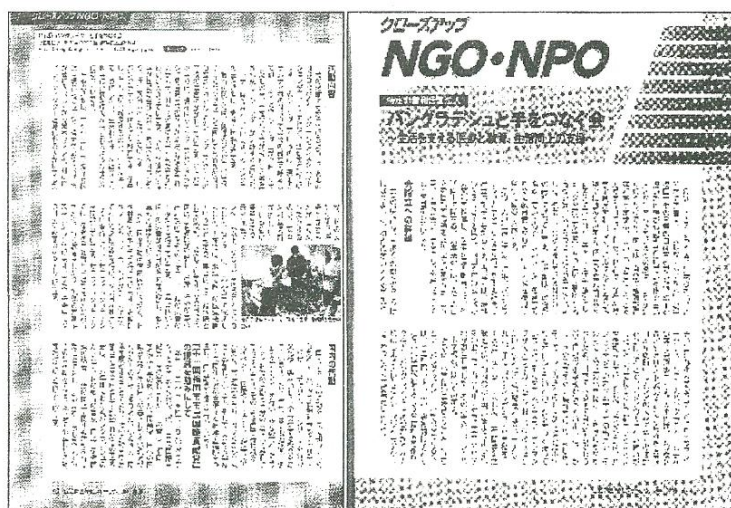
活動報告・4

# 月刊誌「自治体国際化フォーラム」でクローズアップ!!

(財)自治体国際化協会の月刊誌『自治体国際化フォーラム』(2008年6月号)の「クローズアップ NGO・NPO」というコーナーで、見開き2ページにわたり、手をつなぐ会の活動が紹介されました。

(報告1中島、報告2~4: 瀬上)

今後も続々とイベントなど続きます。  
現地訪問・コンサートなど、 Bangladesh や会の活動を知っていただくとともに楽しんでいただけるものばかりです。  
皆さん、ぜひご参加ください♪



<会計報告>

- ※ 募金協力 (敬称略) 友池ユキ Shana 松田純子・山田栄香 林久美子 井上高幸 古賀節子  
 藤澤収 池本 へのクリ募金箱 ラフマンモクレスール 伊達洗次 清水寛子 福本トシ子  
 山崎博敏 入部校区ふれあいサロン はびね福岡野芥 井上愛子 八尋 垣内 井手喜怒子  
 井原環 別府校区つわぶき会 さるびあ会 時枝泰司 吉川八重子 江藤毅 八木良子 三根勝子  
 オーストラリアンビーンズカフェ 小川博子 トミタケイコ  
 ※ 旅費のカンパ (敬称略) 山崎博敏 山下久代 今給黎靖子 志岐玲子  
 ※ 会員紹介 (敬称略) 中島伸子 福沢寿子 櫛真人 村上昌子

\*\*\* \*\* \* これからの行事予定 \* \*\* \* \*\* \*  
 皆様のご参加をお待ちしています♪

月 日	時 間	内 容	場 所
6月19日(木)	19:00~	運営委員会	西新事務所 (早良区西新 5-4-20)
22日(日)	14:00~ 16:00	オカリナコンサート	福岡市東区アイランドシティ中央公園
7月3日(木)	19:00~	事務局会議	西新事務所 (早良区西新 5-4-20)
6日(日)	13:30~	現地訪問研修	あすみん (中央区大名 2-6-46)
10日(木)	19:00~	コンサート打ち合せ	西新事務所 (早良区西新 5-4-20)
12日(土)	17:30~	長崎 チャリティコンサート	長崎出島「ホテルニュータンダ」
13日(日)	13:30~ 開場	福岡 チャリティコンサート	九州キリスト教会館 (中央区舞鶴 2-7-7)
17日(木)	19:00~	運営委員会	西新事務所 (早良区西新 5-4-20)
8月7日(木)	19:00~	訪問団壮行会	未定
8月16日(土)	20:00 出発	バングラデシュ	福岡空港
8月26日(火)	8:00 帰着	・カラムディ村	
8月28日(木)	19:00~	理事会・報告会	西新事務所 (早良区西新 5-4-20)
9月7日(日)	10:00~	115号ミロン&現地訪問報告書 印刷	へのさかクリニック
8日(月)	11:00~	ミロン&報告書 発送	西新事務所 (早良区西新 5-4-20)
11日(木)	19:00~	事務局会議	西新事務所 (早良区西新 5-4-20)
25日(木)	19:00~	運営委員会	西新事務所 (早良区西新 5-4-20)
10月9日(木)	19:00~	事務局会議	西新事務所 (早良区西新 5-4-20)
19日(日)	16:30~ 19:30	現地訪問報告会	NPO・ボランティア交流センター <あすみん> (福岡市大名 2-6-46)
25日(土)	14:30~	バザー提供品の値段付け	へのさかクリニック
26日(日)	12:30~	ミニコンサート& チャリティバザー	へのさかクリニック前駐車場

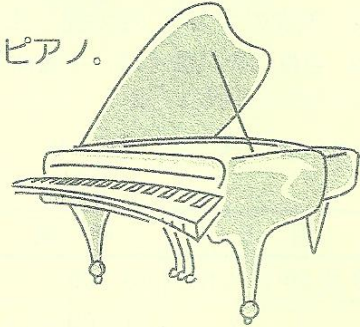
\*\*\* あなたのもったいないを活動に!!

未使用のハガキや書き損じハガキ、商品券などを事務局にお送りください \*\*\*  
 送付先: バングラデシュと手をつなぐ会 福岡市早良区西新 5-4-20 事務所 ☎092-844-1369

# チャリティーコンサート開催します！

美しい音楽を聴きながら、バングラデシュについても知っていただくチャリティーコンサートを今年も開催いたします！

高田あずみさんのヴァイオリンと、宮坂純子さんのピアノ。  
きれいなメロディーに酔いしれるひとときを♪



- 日 時：7月13日（日）14：00～15：30
- 場 所：九州キリスト教会館
- 入場料：会員 2000 円／一般 2500 円  
小・中・高校生 500円

## 現地訪問 参加者大募集！

バングラデシュのカラムディ村を訪問する夏の現地訪問の季節です。

涙あり、笑いありの 10 日間。学校を訪問したり、現地スタッフとのミーティングに参加したり、地元の皆さんと触れ合ったり、市場に出かけたり・・・

会の活動について話し合う場でもあり、現地を体験していただく場でもあります。

この夏が、  
あなたの『忘れられない夏』に。

- 日 時：8月16日～26日
- 参加費：20万円  
(保険・ビザ代別途)
- 申込み・問合せ：にのさかクリニック  
※事前研修あり！（会や現地の紹介、現地でのスケジュール等について研修をいたします）

【申込み・問合せ】  
特活）バングラデシュと手をつなぐ会  
TEL：092-872-1136  
(にのさかクリニック)

## ボランティアスタッフ 募集中！

「バングラデシュと手をつなぐ会」では、活動の活性化と安定化のために、事務局ボランティアスタッフを募集いたします。

### ■仕事の内容

- ①会報の印刷・発送。広報活動
- ②会計補助、名簿整理など事務所の整理
- ③イベント参加や活動報告のまとめ等
- ④ホームページの作成、更新
- ⑤その他（他団体との交流他）

### ■条件

・週に2日程度（1回に半日程度）  
事務所またはにのさかクリニックで仕事のできる方。

・ボランティア活動に理解と熱意のある方で、健康な方であれば、どなたでも応募できます。

・年齢、性別、経験の有無、国籍不問。

■申込み・問合せ：にのさかクリニック  
※会のスタッフとの共同作業を行い、実地に業務の指導をいたします。

期間は一応1年間としますが、その後も継続できることを希望します。また期間限定でボランティアをやってみたい、という方もご相談ください。